

(中間評価)

イノベータ養成のためのサンドイッチ教育

(実施期間：平成 22～26 年度)

実施機関：三重大学（総括責任者：内田 淳正）

プロジェクトの概要

本事業では、産業界等の課題を共同研究プロジェクトとし、若手研究人材が担当し、三重大学が提案している 2 段階 OPT サンドイッチ教育により「プロジェクト・マネジメントができる博士人材」に転換し、産業界の中核人材として輩出する。大学では、プロジェクト・マネジメント指導教員（PM 教員）と研究開発指導教員（R&D 教員）が第 1 段階のサンドイッチ教育を行い、新規「実社会プロジェクト」を企画立案する。その後、共同研究先の企業で「実社会プロジェクト」の実施を通じたインターンシップ教育を、企業経営者と大学教員が第 2 段階のサンドイッチ教育を実施することで博士号を取得したイノベータとしての実践力を身に付ける。

(1) 評価結果

総合評価	進捗状況	イノベーション人材養成システム改革状況	実践プログラムの開発・運用状況	実施体制	今後の進め方
A	b	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

三重県を中心とした協力企業を開拓し、サンドイッチ教育という独自の人材養成システムを構築するなど、体制整備への努力と取組実施姿勢は評価できる。しかしながら、養成者数・輩出者数ともに目標を下回っており、特に実績の低い博士課程（後期）学生の養成者数目標の達成のために、学内自然科学系研究科共通の全学的取組、PM教員の質の向上、教員および学生の意識改革の推進を期待する。三重県だけで閉じた系を前提とせず、視野を広く持ち、全国的、グローバルな展開を期待する。

- ・ **進捗状況**：ポストドクターへの取組は評価できる。本事業への参加可能な博士課程（後期）学生の在籍者数の見積もりが甘かったため、応募人数、養成人数ともに目標数を大幅に割り込んでいる。しかしながら、養成人数の確保のために自然科学系すべての博士課程在籍者に個別面談を実施して本事業への参加を促す計画が立案されており、その成果を期待する。
- ・ **イノベーション人材養成システム改革状況**：研究指導教員とキャリア支援教員とによるサンドイッチ教育は、三重大学独自の人材養成システムで、意欲的なプログラムである

と評価できる。学長のイニシアティブもあり、未達の原因の分析も行われており、システム改革は順調に進んでいる。運営方針を決める会議に企業人がメンバーとして積極的に参加することを検討されたい。

- **実践プログラムの開発・運用状況**：ユニークなプログラムが開発され、運用されている。目標未達の分析と対策もなされている。三重県内の企業、地方自治体との密な連携を構築し、本事業に対する理解、支援を得ており、運用状況は良い。
- **実施体制**：学長のリーダーシップの下に、機関の支援を受けながら本事業を進めているが、養成室長の能力に依る部分も大きいため、組織としての再現性、継続性を担保されることを期待する。
- **今後の進め方**：三重県の企業との密な産学連携の下に事業が運用されている点は評価できる。今後は、三重県外の企業との連携、共同研究を軸にした博士人材養成に関する産学連携の仕組み作りも期待する。地域イノベーション研究科教員を核としたキャリア指導教員と研究指導教員とのサンドイッチ教育の成果を上げ、構築したカリキュラムの恒常化を図ることを期待する。学長のリーダーシップの下、今後は、本事業が大学全体に展開し、事業が発展することを期待する。